



▲ サクラをお届けします！ウナンサクラ草 (3月3日撮影)



金光寺寺報 第236号 発行所 金光寺 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町大字鞍岡 5927番地 ☎ 0982 83-2338

今月法語カレンダーのことば

私の上にあるものは 全部賜うたものである 細川 巖

「私」たちは「知識がある」とか「知識がない」とか言います。この「知識」という言葉は仏教に由来する語で、本来「先生」を意味します。たとえば、「私には多くの知識がある」という場合、それは困ったときに教導してくれる「先生」が多いという意味です。私たちは生まれてから種々のことを学び知識を得ますが、そこには必ず「先生」がいました。「自分には知識がある」という場合、それは自らが学び習得したのですが、それを伝えてくださった方々のご苦勞に感謝することが大切です。しかし多くの場合、感謝すらくなく、傲慢にも「自分には知識がある」と威張ってしまいますのです。

親鸞聖人が詠まれた『正像末和讃』の一つに「恩徳讃」があります。如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし 師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし 「如来大悲」とは、「南無阿弥陀仏」の親心のことであり、この煩惱具足の「私」のいのちを見放すことなく照らし続ける阿弥陀さまの智慧と慈悲です。「師主」とは、先生の中の先生で、その「智慧と慈悲（南無阿弥陀仏の功德）」を私たちに説き示してくださったお釈迦さまのことです。「知識」とは、その「南無阿弥陀仏」の親心を解きほぐして伝えてくださった方々、特に浄土教伝統における七人の先生（七高僧）と、その方々が残してくださった成果（書物）を意味します。親鸞聖人の「恩徳讃」は、それらのはたらきに対する、自らの「知徳報恩」の言葉なのです。

私は、今月のことばをその「知恩報徳」に通じる言葉として味わっています。(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎ 3月 26日 終日 27日 終日



ホームページ開いています。 URL https://konkouji.jp/ 3月8日現在アクセス数 114,830人

金光寺のひと月

Calendar table showing dates and names of people whose birthdays are observed at the temple. Includes names like 松岡 猛様, 田中 淳子様, etc.

任職ひとりごと

すかてとは私めさ同化がをさ変ば厄でんさは引ム不要コがい雨んすれでなか... (A vertical column of text, likely a diary or reflection piece.)